

■タイ：天然ガス供給でトラブルが続発

発電用燃料の 70%を天然ガスに依存するタイで、ガス供給のトラブルが続発している。まず、2009年8月9日～20日にかけて、タイ・マレーシア共同開発地域（JDA）、ミャンマー領海、タイ湾沖の各ガス田で、定期点検とパイプラインのガス漏れ事故が重なったことから、燃料の供給不足が発生、タイ発電公社（EGAT）は水力発電所の出力増加やピーク用石油火力発電所の運転で対応した。続いて9月12～13日にかけて、再びJDAとミャンマー領海のYadanaガス田が技術的問題で生産を停止したため、両ガス田のガスを燃料とする計200万kWの発電設備が運転できなくなった。EGATは、軽油の使用、およびマレーシアからの電力輸入の増加によって対応した。これらのことから、タイ国内では天然ガスの安定供給への懸念が高まっている。